

# 京都府域の広域道路網について

# 広域道路ネットワークのイメージ(案)

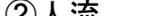
## 【STEP1】 3つの観点から拠点を設定

- ①物流…重要港湾、インターチェンジ  
工業団地、物流拠点等
- ②人流…観光地(点、線、面があり)  
医療(高次医療機関)
- ③防災…防災拠点(京都府、市町村地域防災計画を反映)  
府庁、府総合庁舎、市町村役場(支所)、自衛隊駐屯地、道の駅等  
(防災計画上、広域・狭域に差があり)

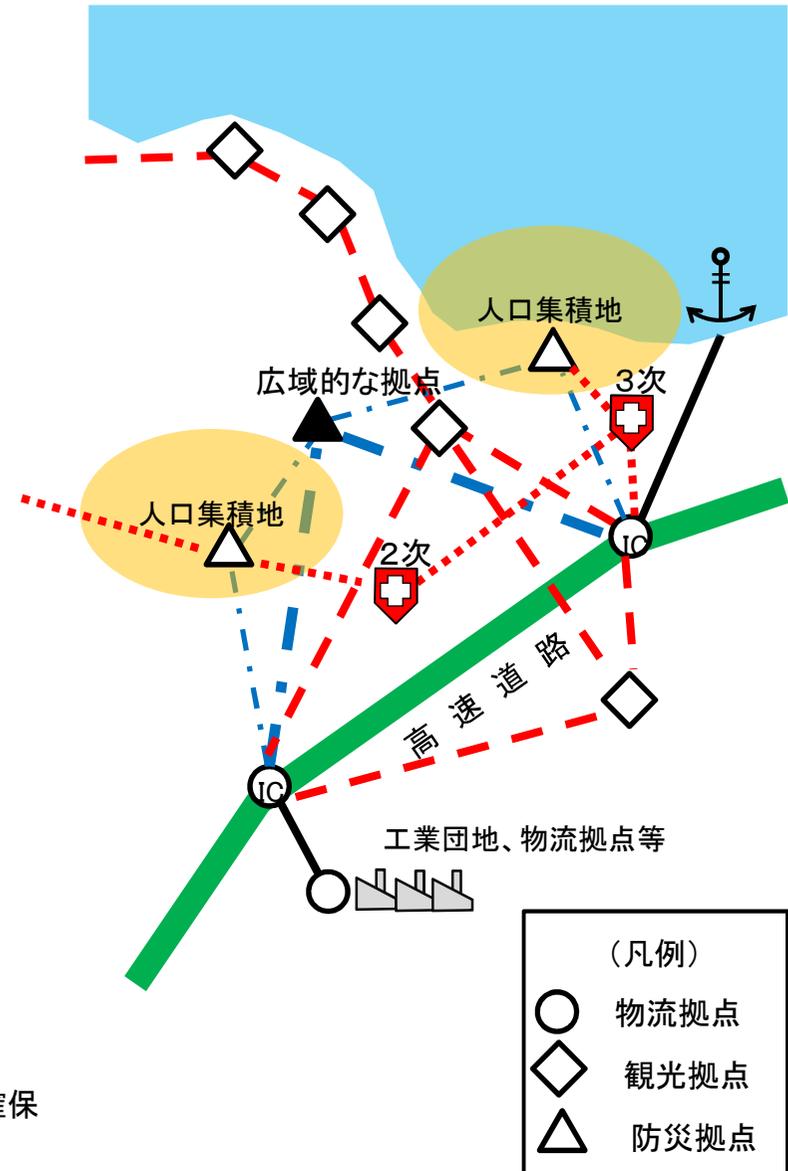
## 【STEP2】それぞれの関連する拠点同士を結ぶ

高速道路をメインとし、国道、府道で補完する

## 【STEP3】経路によって求められるレベルを設定

- ①物流  国際海上コンテナ車が通行できる(定時性、幅員、高さ、重量)  
複数経路は、高速道路ネットワークの中で確保
- ②人流  観光バスがすれ違える(定時性、幅員)、厳しすぎない線形  
 人口集積地から医療機関、二次→三次医療機関へは、確実にアクセスできる
- ③災害  災害に対する安全性が一定確保できる  
防災上の広域的な拠点は、  
ICからの直接接続経路＋一般拠点経由の間接接続経路の  
2経路が必要  
相互に助け合う関係がある拠点同士は、複数経路を確保。  
府県をまたぐ隣接市町村で相互応援協定がある場合は、経路を確保

【拠点と経路のイメージ】



## 広域道路ネットワークに求められる道路の機能(案)

		速達性・定時性	道路構造規格 (幅員、高さ、重さ)	災害に対する信 頼性	複数経路確保の 必要性
(高速道路)		◎	◎	◎	◎ (全国ネット)
1 物流に資する道路		◎	◎	◎	○
2 人流に資する道路	観光	○	○	○	○
	医療	○ (平常時には一般車での 利用多い)	—	◎	◎
3 防災に資する道路		—	—	◎	◎

◎:強く求められる    ○:求められる    —:関連性が低い